

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投資/国内/資産複合	特化型
信託期間	2025年4月10日〔当初、2020年4月10日〕まで（2015年5月8日設定）	
運用方針	円建ての外国投資信託であるJリート アンド リアルエステート エクイティ ファンド カバード・コール・クラスの投資信託証券への投資を通じて、主としてわが国の金融商品取引所に上場している不動産株式および不動産投資信託証券に実質的な投資を行います。また、当該外国投資信託への投資を通じて、実質的な保有円建て資産に対し、円売り・米ドル買いの為替取引を行いつつ（このため、基準価額は米ドルの対円での為替変動の影響を受けます。）、円に対する米ドルのコール・オプションおよびわが国の不動産業株価指数のコール・オプションの売却によってオプション・プレミアム収入を獲得するカバード・コール戦略を実質的に活用します。なお、証券投資信託であるマネー・マーケット・マザーファンドの投資信託証券への投資も行います。円建ての外国投資信託への投資は高位を維持することを基本とします。わが国の不動産株式およびリートへの運用にあたっては、三菱UFJ国際投信の助言のもと、三菱UFJアセット・マネジメント（UK）が行います。また、為替取引およびカバード・コール戦略の運用は、クレディ・スイス・マネジメント（ケイマン）リミテッドが行います。	
主要運用対象	三菱UFJリート不動産株ファンド<Wプレミアム>（毎月決算型）	Jリート アンド リアルエステート エクイティ ファンド カバード・コール・クラスおよびマネー・マーケット・マザーファンドの投資信託証券を主要投資対象とします。
	Jリート アンド リアルエステート エクイティ ファンド カバード・コール・クラス	日本の不動産株式および不動産投資信託証券を主要投資対象とします。
	マネー・マーケット・マザーファンド	わが国の公社債等を主要投資対象とします。外貨建資産への投資は行いません。
主な組入制限	投資信託証券への投資割合に制限を設けません。外貨建資産への直接投資は行いません。	
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。なお、第1計算期末は、収益の分配は行いません。	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。
 ※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

- ファンドは特化型運用を行います。一般社団法人投資信託協会は信用リスク集中回避を目的とした投資制限（分散投資規制）を設けており、投資対象に支配的な銘柄（寄与度が10%を超える又は超える可能性の高い銘柄）が存在し、又は存在することとなる可能性が高いものを、特化型としています。
- ファンドは、わが国の不動産株式およびリートに実質的に投資します。わが国の不動産株式およびリートには、寄与度が10%を超える又は超える可能性の高い支配的な銘柄が存在するため、特定の銘柄への投資が集中することがあり、当該支配的な銘柄に経営破綻や経営・財務状況の悪化が生じた場合には、大きな損失が発生することがあります。
- * 寄与度とは、投資対象候補銘柄の時価総額の合計額における一発行体あたりの時価総額が占める比率または運用管理等に用いる指数における一発行体あたりの構成比率を指します。

運用報告書（全体版）

三菱UFJ Jリート不動産株ファンド
<Wプレミアム>（毎月決算型）

愛称：メトロポリス

第42期（決算日：2018年11月12日）
 第43期（決算日：2018年12月10日）
 第44期（決算日：2019年1月10日）
 第45期（決算日：2019年2月12日）
 第46期（決算日：2019年3月11日）
 第47期（決算日：2019年4月10日）

信託期間を従来の2020年4月10日から2025年4月10日へ延長しました。

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
 さて、お手持ちの「三菱UFJ Jリート不動産株ファンド<Wプレミアム>（毎月決算型）」は、去る4月10日に第47期の決算を行いましたので、法令に基づいて第42期～第47期の運用状況をまとめてご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
 ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用
フリーダイヤル **0120-151034**
 （受付時間：営業日の9:00～17:00、
土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客様のお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○最近30期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額 (分配落)	額			債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率	投 資 信 託 組 入 比 率	純 資 産 総 額
		税 込 分 配	み 金 騰 落	中 率				
	円	円	%	%	%	%	百万円	
18期(2016年11月10日)	5,719	100	0.5	0.0	—	99.0	20,320	
19期(2016年12月12日)	6,356	100	12.9	0.0	—	99.3	20,968	
20期(2017年1月10日)	6,483	100	3.6	0.0	—	99.2	19,858	
21期(2017年2月10日)	6,024	100	△ 5.5	0.0	—	99.1	17,541	
22期(2017年3月10日)	5,961	100	0.6	0.0	—	99.2	16,450	
23期(2017年4月10日)	5,535	100	△ 5.5	0.0	—	99.1	14,382	
24期(2017年5月10日)	5,712	100	5.0	—	—	99.4	14,004	
25期(2017年6月12日)	5,426	100	△ 3.3	—	—	99.0	12,651	
26期(2017年7月10日)	5,317	100	△ 0.2	—	—	99.3	11,586	
27期(2017年8月10日)	5,092	100	△ 2.4	—	—	99.2	10,630	
28期(2017年9月11日)	4,791	100	△ 3.9	—	—	99.0	9,970	
29期(2017年10月10日)	5,003	70	5.9	—	—	99.0	9,988	
30期(2017年11月10日)	5,054	70	2.4	—	—	99.2	9,477	
31期(2017年12月11日)	5,089	70	2.1	—	—	99.2	9,586	
32期(2018年1月10日)	5,144	70	2.5	—	—	99.2	9,363	
33期(2018年2月13日)	4,722	70	△ 6.8	—	—	99.0	8,152	
34期(2018年3月12日)	4,591	70	△ 1.3	—	—	99.3	7,737	
35期(2018年4月10日)	4,672	70	3.3	—	—	99.2	7,662	
36期(2018年5月10日)	4,798	70	4.2	—	—	98.0	7,716	
37期(2018年6月11日)	4,699	70	△ 0.6	—	—	98.0	7,416	
38期(2018年7月10日)	4,712	70	1.8	—	—	98.0	7,193	
39期(2018年8月10日)	4,556	70	△ 1.8	—	—	98.0	6,796	
40期(2018年9月10日)	4,440	70	△ 1.0	—	—	98.0	6,525	
41期(2018年10月10日)	4,529	70	3.6	—	—	98.0	5,925	
42期(2018年11月12日)	4,534	70	1.7	—	—	98.5	5,671	
43期(2018年12月10日)	4,558	50	1.6	—	—	98.8	5,578	
44期(2019年1月10日)	4,208	50	△ 6.6	—	—	98.5	5,057	
45期(2019年2月12日)	4,366	50	4.9	—	—	98.9	5,182	
46期(2019年3月11日)	4,398	50	1.9	—	—	98.6	5,100	
47期(2019年4月10日)	4,425	50	1.8	—	—	98.8	5,058	

(注) 当ファンドの基準価額は、投資対象とする投資信託証券については、前営業日の基準価額を基に計算しております。

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準	価 額		債 組 入 比	券 率	債 先 物 比	券 率	投 資 信 託 組 入 比	投 資 信 託 券 率
			騰 落 率	率						
第42期	(期 首)	円	%	%	%	%	%	%	%	%
	2018年10月10日	4,529	—	—	—	—	—	—	—	98.0
	10月末	4,473	△1.2	—	—	—	—	—	—	98.6
第43期	(期 末)									
	2018年11月12日	4,604	1.7	—	—	—	—	—	—	98.5
	(期 首)									
第43期	2018年11月12日	4,534	—	—	—	—	—	—	—	98.5
	11月末	4,589	1.2	—	—	—	—	—	—	98.5
	(期 末)									
第44期	2018年12月10日	4,608	1.6	—	—	—	—	—	—	98.8
	(期 首)									
	2018年12月10日	4,558	—	—	—	—	—	—	—	98.8
第44期	12月末	4,294	△5.8	—	—	—	—	—	—	98.7
	(期 末)									
	2019年1月10日	4,258	△6.6	—	—	—	—	—	—	98.5
第45期	(期 首)									
	2019年1月10日	4,208	—	—	—	—	—	—	—	98.5
	1月末	4,401	4.6	—	—	—	—	—	—	98.7
第45期	(期 末)									
	2019年2月12日	4,416	4.9	—	—	—	—	—	—	98.9
	(期 首)									
第46期	2019年2月12日	4,366	—	—	—	—	—	—	—	98.9
	2月末	4,474	2.5	—	—	—	—	—	—	98.8
	(期 末)									
第46期	2019年3月11日	4,448	1.9	—	—	—	—	—	—	98.6
	(期 首)									
	2019年3月11日	4,398	—	—	—	—	—	—	—	98.6
第47期	3月末	4,570	3.9	—	—	—	—	—	—	99.0
	(期 末)									
	2019年4月10日	4,475	1.8	—	—	—	—	—	—	98.8

(注) 当ファンドの基準価額は、投資対象とする投資信託証券については、前営業日の基準価額を基に計算しております。

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

運用経過

第42期～第47期：2018年10月11日～2019年4月10日

▶ 当作成期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第42期首	4,529円
第47期末	4,425円
既払分配金	320円
騰落率	5.0%
(分配金再投資ベース)	

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は当作成期首に比べ5.0% (分配金再投資ベース) の上昇となりました。

> 基準価額の主な変動要因

上昇要因

オプション・プレミアム収入を獲得したことや、国内リート市況が上昇したことなどが、基準価額の上昇要因となりました。

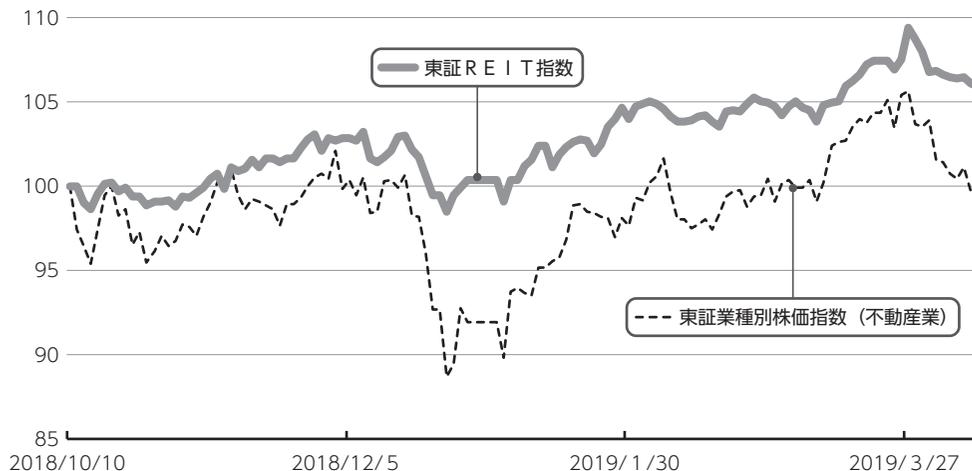
下落要因

米ドルが対円で下落したことや、不動産株式が上昇した局面での不動産業株価指数のコール・オプションの売却に係る損失が発生したことなどが、基準価額の下落要因となりました。

第42期～第47期：2018年10月11日～2019年4月10日

投資環境について

不動産株式およびリート市況の推移 (当作成期首を100として指数化)



(注) 東証業種別株価指数 (不動産業) は、東京証券取引所第一部に上場している内国普通株式全銘柄のうち、東証33業種の不動産業に区分される銘柄の値動きを示す株価指数です。東証業種別株価指数 (不動産業) に関する知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。東京証券取引所は、東証業種別株価指数 (不動産業) の算出もしくは公表の方法の変更、東証業種別株価指数 (不動産業) の算出もしくは公表の停止または東証業種別株価指数 (不動産業) の商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。東証REIT指数とは、東京証券取引所に上場している不動産投資信託証券全銘柄を対象として算出した指数です。東証REIT指数の商標に関する著作権、知的所有権、その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。東京証券取引所は東証REIT指数の内容の変更、公表の停止または商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。東京証券取引所は東証REIT指数の指数値の算出または公表の誤謬、遅延または中断に対して、責任を負いません。

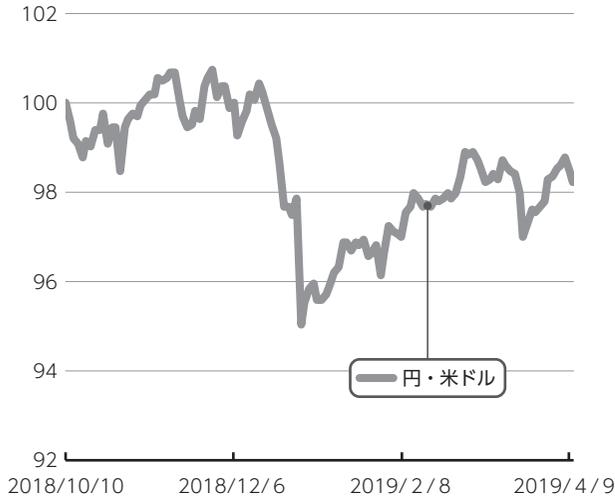
▶ 株式・リート市況

不動産関連株式市況は、当作成期首から2018年12月中旬にかけては一進一退の動きとなったものの、12月中旬から下旬にかけては、米国株式市場の急落を受けた投資家心理の悪化などを背景に下落しました。2019年1月から3月にかけては、低水準のオフィス空室率や賃料の上昇が持続したことに加え、米中貿易摩擦に対

する懸念が一部で後退したことなどから上昇したものの、その後は下落し、当作成期間を通じてみると小幅に下落しました。

国内リート市況は、低金利環境を背景に利回り資産に対する買い需要が高まったことなどから、当作成期間を通じてみると上昇しました。

為替市況の推移 (当作成期首を100として指数化、対円)



▶ 為替市況

当作成期首から2018年12月中旬にかけては、米ドルは対円で一進一退の動きとなったものの、12月中旬から下旬にかけては、世界的にリスク回避の動きが強まったことなどを背景に円高が進行し、米ドルは対円で下落しました。その後は、世界経済や企業業績に対する過度な警戒感が後退したことなどを背景に米ドルは対円で上昇したものの、当作成期間を通しては、米ドルは対円で下落しました。

▶ 国内短期金融市場

当作成期の短期金融市場をみると、日銀は長短金利を操作目標として金融市場調整を行いました。コール・レート（無担保・翌日物）はマイナス圏で推移し、2019年4月10日のコール・レートは-0.064%となりました。

▶ 当該投資信託のポートフォリオについて

▶ 三菱UFJ リート不動産株ファンド<Wプレミアム> (毎月決算型)

外国投資信託であるリート アンド リアルエステート エクイティ ファンド カバード・コール・クラスを高位に組み入れた運用を行いました。また、マネー・マーケット・マザーファンド投資信託証券を一部組み入れた運用を行いました。

▶ リート アンド リアルエステート エクイティ ファンド カバード・コール・クラス

基準価額は当作成期首に比べ5.6% (分配金再投資ベース) の上昇となりました。

わが国の金融商品取引所に上場している不動産株式およびリートを主要投資対象とするとともに、保有円建て資産に対し円売り・米ドル買いの為替取引を実施しつつ、円に対する米ドルのコール・オプションおよびわが国の不動産業株価指数のコール・オプションの売却によってオプション・プレミアム収入を獲得するカバード・コール戦略を活用する運用を行いました。

投資する株式およびリートについては、東京圏における売上・収益依存が高い、あるいは今後の売上・収益の拡大が期待され、東京圏の経済活性化により恩恵を受けるか等の観点で選別した不動産株式と、保有物件が主として東京圏にある国内リートの中から、将来のキャッシュフロー予測、保有不動産価値評価、業績予想等の分析に基づき、銘柄選定を行いました。組入銘柄数は概ね48銘柄程度で推移させました。作成中には、日本プロロジスリート投資法人などを新規に組み入れ、三井不動産、住友不動産などのウエイトを引き上げました。一方でG L P 投資法人などを全売却し、パーク24などのウエイトを引き下げました。

当作成期は、米ドルが対円で下落したことや、不動産株式が上昇した局面での不動産業株価指数のコール・オプションの売却に係る損失が発生したことなどがマイナスとなったものの、オプション・プレミアム収入を獲得したことに加え、国内リート市況が上昇したことなどがプラスとなり、基準価額 (分配金再投資ベース) は上昇しました。

下記は、三菱UFJアセット・マネジメント（UK）の資料（評価対象日基準：各ファンドへの実質的な反映日）に基づき作成した、Jリート アンド リアルエステート エクイティ ファンドの不動産株式およびリート部分の状況です。

(ご参考)

■証券種別および業種／用途別構成比率

2019年3月末

証券種別	業種／用途	比率
不動産株式		49.6%
	不動産業	49.6%
リート		50.4%
	オフィス	21.1%
	各種・分散投資型	14.3%
	住宅用	6.6%
	工業用	4.8%
	ホテル・リゾート	2.3%
	店舗用	1.3%
合計		100.0%

(注) 比率は現物株式およびリート評価額に対する割合です。

(注) リートの用途はG I C S（世界産業分類基準）、不動産株式の業種は東証33業種に基づいて分類しています。

下記は、クレディ・スイス・マネジメント (ケイマン) リミテッドの資料 (評価対象日基準：ファンドへの実質的な反映日) に基づき作成した、Jリート アンド リアルエステート エクイティ ファンド カバード・コール・クラスのオプション部分の状況です。

(ご参考)

■ポートフォリオ特性値

2019年3月末

【通貨カバード・コール戦略】

オプション・プレミアム	3.1%
カバー率	49.2%
平均権利行使価格	100.7%
平均権利行使期間	33日

【不動産株式カバード・コール戦略】

オプション・プレミアム	5.6%
カバー率	24.6%
平均権利行使価格	98.1%
平均権利行使期間	33日

(注) オプション・プレミアムは、円建外国投資信託の純資産総額に対する年率調整後のプレミアム収入です。

(注) 当ファンドのカバード・コール戦略におけるカバー率 (円建外国投資信託の純資産総額に対するオプションのポジション) は、通貨においては米ドル部分に対して50%程度 (円建外国投資信託の純資産総額に対して50%程度) とし、不動産株式においては、不動産株式部分に対して50%程度 (円建外国投資信託の純資産総額に対して25%程度) とします。

(注) 平均権利行使価格は、原資産価格に対する権利行使価格の水準 (評価対象日基準) です。

(注) 平均権利行使期間は、オプション権利行使日までの平均日数です。

▶ マネー・マーケット・マザーファンド

基準価額は当作成期首に比べ横ばいとなりました。

コール・ローン等短期金融商品を活用し、利子等収益の確保を図りました。その結果、利子等収益は積み上がったものの、運用資金に対するマイナス金利適用などの影響を受けて、基準価額は横ばいとなりました。

当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第42期 2018年10月11日~ 2018年11月12日	第43期 2018年11月13日~ 2018年12月10日	第44期 2018年12月11日~ 2019年1月10日	第45期 2019年1月11日~ 2019年2月12日	第46期 2019年2月13日~ 2019年3月11日	第47期 2019年3月12日~ 2019年4月10日
当期分配金 (対基準価額比率)	70 (1.520%)	50 (1.085%)	50 (1.174%)	50 (1.132%)	50 (1.124%)	50 (1.117%)
当期の収益	58	50	50	50	50	50
当期の収益以外	11	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	106	117	126	134	146	159

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針 (作成対象期間末での見解です。)

▶ 三菱UFJ リート不動産株ファンド<Wプレミアム> (毎月決算型)

今後の運用方針

外国投資信託への投資を通じて、わが国の金融商品取引所に上場している不動産株式およびリートを高位に組み入れ、値上がり益の獲得および配当収益の確保をめざします。また、余裕資金を効率的に運用するため、マネー・マーケット・マザーファンド投資信託証券を一部組み入れた運用を行います。

▶ リート アンド リアルエステート エクイティ ファンド カバード・コール・クラス 運用環境の見通し

今後の不動産関連株式および国内リート市況は、日銀の金融緩和政策を受けて国内の低金利環境が当面維持されるとみられ、低水準のオフィス空室率等を背景に総じて堅調に推移すると予想されます。リートにおいては、引き続き利回り商品として選好されると考えます。

今後の運用方針

東京圏の経済活性化の恩恵を受ける不動産株式や、保有物件が主として東京圏にある国内リートの中から、将来のキャッシュフロー予測、保有不動産価値評価、業績予想の分析に基づき、業績が安定的かつバリュエーション面で割安感のある銘柄への投資を中心に行います。保有円建て資産に対し円売り・米ドル買いの為替取引を実施しつつ、前述のカバード・コール戦略を活用する運用を行います。

▶ マネー・マーケット・マザーファンド

運用環境の見通し

物価は緩やかに上昇していくと予想していますが、日銀の物価目標である2%には届かないと思われる。したがって、今後も金融緩和政策が継続すると想定されることから、短期金利は低位で推移すると予想しています。

今後の運用方針

コール・ローンおよびCP現先取引等への投資を通じて、安定した収益の確保をめざした運用を行う方針です。

2018年10月11日～2019年4月10日

1万口当たりの費用明細

項目	第42期～第47期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	26	0.589	(a) 信託報酬 = 作成期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (作成期中の日数 ÷ 年間日数)
(投 信 会 社)	(9)	(0.199)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(17)	(0.377)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.013)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	0	0.002	(b) その他費用 = 作成期中のその他費用 ÷ 作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	26	0.591	

作成期中の平均基準価額は、4,462円です。

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

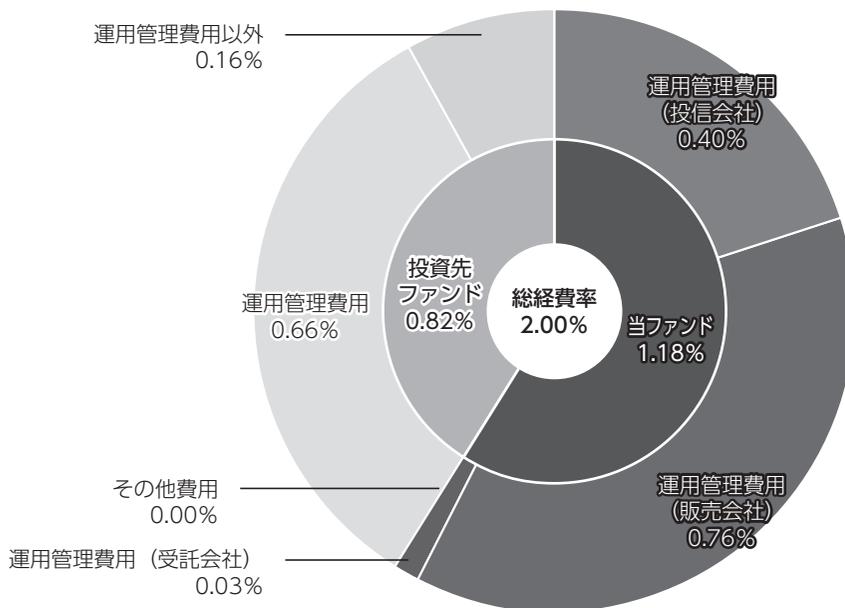
(注) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入れ上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

■ 総経費率

当作成対象期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は2.00%**です。



総経費率 (①+②+③)	(%)	2.00
①当ファンドの費用の比率	(%)	1.18
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	(%)	0.66
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	(%)	0.16

(注) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2018年10月11日～2019年4月10日)

投資信託証券

銘柄		第42期～第47期			
		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
国内	Jリートアンドリアルエステートエクイティファンドカバード・コール・クラス	千口 110	千円 482,440	千口 252	千円 1,119,800

(注) 金額は受渡代金。

○利害関係人との取引状況等

(2018年10月11日～2019年4月10日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2019年4月10日現在)

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘柄		第41期末		第47期末	
		口数	口数	評価額	比率
	Jリートアンドリアルエステートエクイティファンドカバード・コール・クラス	千口 1,285	千口 1,142	千円 4,997,298	% 98.8
合計		1,285	1,142	4,997,298	98.8

(注) 比率は三菱UFJ Jリート不動産株ファンド<Wプレミアム> (毎月決算型) の純資産総額に対する比率。

親投資信託残高

銘柄		第41期末		第47期末	
		口数	口数	評価額	評価額
	マネー・マーケット・マザーファンド	千口 6,324	千口 6,324	千円 6,440	千円 6,440

○投資信託財産の構成

(2019年4月10日現在)

項 目	第47期末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 4,997,298	% 97.3
マネー・マーケット・マザーファンド	6,440	0.1
コール・ローン等、その他	132,094	2.6
投資信託財産総額	5,135,832	100.0

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第42期末	第43期末	第44期末	第45期末	第46期末	第47期末
	2018年11月12日現在	2018年12月10日現在	2019年1月10日現在	2019年2月12日現在	2019年3月11日現在	2019年4月10日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	5,924,033,691	5,712,179,831	5,123,194,848	5,272,538,668	5,180,228,943	5,135,832,949
コール・ローン等	173,752,769	195,494,802	135,013,304	138,765,857	145,167,420	132,094,034
投資信託受益証券(評価額)	5,587,440,922	5,510,245,029	4,981,741,544	5,127,332,811	5,028,621,523	4,997,298,915
マネー・マーケット・マザーファンド(評価額)	6,440,000	6,440,000	6,440,000	6,440,000	6,440,000	6,440,000
未収入金	156,400,000	—	—	—	—	—
(B) 負債	252,888,224	133,300,867	65,464,386	89,731,182	79,286,254	77,028,560
未払収益分配金	87,565,417	61,205,050	60,090,961	59,358,052	57,986,203	57,165,412
未払解約金	159,081,022	66,956,542	—	24,768,764	16,728,775	14,783,926
未払信託報酬	6,224,053	5,124,546	5,357,939	5,588,617	4,558,702	5,065,126
未払利息	381	390	265	237	94	229
その他未払費用	17,351	14,339	15,221	15,512	12,480	13,867
(C) 純資産総額(A-B)	5,671,145,467	5,578,878,964	5,057,730,462	5,182,807,486	5,100,942,689	5,058,804,389
元本	12,509,345,294	12,241,010,138	12,018,192,220	11,871,610,569	11,597,240,668	11,433,082,563
次期繰越損益金	△ 6,838,199,827	△ 6,662,131,174	△ 6,960,461,758	△ 6,688,803,083	△ 6,496,297,979	△ 6,374,278,174
(D) 受益権総口数	12,509,345,294口	12,241,010,138口	12,018,192,220口	11,871,610,569口	11,597,240,668口	11,433,082,563口
1万口当たり基準価額(C/D)	4,534円	4,558円	4,208円	4,366円	4,398円	4,425円

○損益の状況

項 目	第42期	第43期	第44期	第45期	第46期	第47期
	2018年10月11日～ 2018年11月12日	2018年11月13日～ 2018年12月10日	2018年12月11日～ 2019年1月10日	2019年1月11日～ 2019年2月12日	2019年2月13日～ 2019年3月11日	2019年3月12日～ 2019年4月10日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	78,047,887	78,866,082	76,293,565	70,459,724	75,288,652	76,587,241
受取配当金	78,055,512	78,871,052	76,298,218	70,464,445	75,291,561	76,590,487
受取利息	—	5	—	—	10	—
支払利息	△ 7,625	△ 4,975	△ 4,653	△ 4,721	△ 2,919	△ 3,246
(B) 有価証券売買損益	21,030,690	16,839,549	△ 430,441,135	181,119,576	25,042,642	15,657,768
売買益	23,214,132	17,052,054	5,765,889	183,564,442	25,886,511	17,491,030
売買損	△ 2,183,442	△ 212,505	△ 436,207,024	△ 2,444,866	△ 843,869	△ 1,833,262
(C) 信託報酬等	△ 6,241,404	△ 5,138,576	△ 5,373,160	△ 5,603,919	△ 4,571,182	△ 5,078,993
(D) 当期繰越益金(A+B+C)	92,837,173	90,567,055	△ 359,520,730	245,975,381	95,760,112	87,166,016
(E) 前期繰越損益金	△ 4,627,175,977	△ 4,494,250,796	△ 4,372,353,898	△ 4,717,994,227	△ 4,414,821,273	△ 4,303,835,616
(F) 追加信託差損益金	△ 2,216,295,606	△ 2,197,242,383	△ 2,168,496,169	△ 2,157,426,185	△ 2,119,250,615	△ 2,100,443,162
(配当等相当額)	(146,524,109)	(129,916,247)	(127,597,871)	(126,161,978)	(123,340,405)	(121,716,062)
(売買損益相当額)	(△ 2,362,819,715)	(△ 2,327,158,630)	(△ 2,296,094,040)	(△ 2,283,588,163)	(△ 2,242,591,020)	(△ 2,222,159,224)
(G) 計(D+E+F)	△ 6,750,634,410	△ 6,600,926,124	△ 6,900,370,797	△ 6,629,445,031	△ 6,438,311,776	△ 6,317,112,762
(H) 収益分配金	△ 87,565,417	△ 61,205,050	△ 60,090,961	△ 59,358,052	△ 57,986,203	△ 57,165,412
次期繰越損益金(G+H)	△ 6,838,199,827	△ 6,662,131,174	△ 6,960,461,758	△ 6,688,803,083	△ 6,496,297,979	△ 6,374,278,174
追加信託差損益金	△ 2,230,055,886	△ 2,197,242,383	△ 2,168,496,169	△ 2,157,426,185	△ 2,119,250,615	△ 2,100,443,162
(配当等相当額)	(132,763,829)	(129,916,247)	(127,597,871)	(126,161,978)	(123,340,405)	(121,716,062)
(売買損益相当額)	(△ 2,362,819,715)	(△ 2,327,158,630)	(△ 2,296,094,040)	(△ 2,283,588,163)	(△ 2,242,591,020)	(△ 2,222,159,224)
分配準備積立金	38,373	13,488,347	24,139,733	33,322,457	46,467,731	60,952,588
繰越損益金	△ 4,608,182,314	△ 4,478,377,138	△ 4,816,105,322	△ 4,564,699,355	△ 4,423,515,095	△ 4,334,787,600

(注) (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項>

① 作成期首(前作成期末)元本額 13,083,678,583円

 作成期中追加設定元本額 226,542,994円

 作成期中一部解約元本額 1,877,139,014円

 また、1口当たり純資産額は、作成期末0.4425円です。

② 純資産総額が元本額を下回っており、その差額は6,374,278,174円です。

③ 分配金の計算過程

項 目	2018年10月11日～ 2018年11月12日	2018年11月13日～ 2018年12月10日	2018年12月11日～ 2019年1月10日	2019年1月11日～ 2019年2月12日	2019年2月13日～ 2019年3月11日	2019年3月12日～ 2019年4月10日
費用控除後の配当等収益額	73,131,518円	74,631,888円	70,920,394円	68,890,024円	71,858,423円	72,370,122円
費用控除後・繰越大損金補填後の有価証券売買等損益額	—円	—円	—円	—円	—円	—円
収益調整金額	146,524,109円	129,916,247円	127,597,871円	126,161,978円	123,340,405円	121,716,062円
分配準備積立金額	711,992円	61,509円	13,310,300円	23,790,485円	32,595,511円	45,747,878円
当ファンドの分配対象収益額	220,367,619円	204,609,644円	211,828,565円	218,842,487円	227,794,339円	239,834,062円
1万口当たり収益分配対象額	176円	167円	176円	184円	196円	209円
1万口当たり分配金額	70円	50円	50円	50円	50円	50円
収益分配金金額	87,565,417円	61,205,050円	60,090,961円	59,358,052円	57,986,203円	57,165,412円

○分配金のお知らせ

	第42期	第43期	第44期	第45期	第46期	第47期
1万口当たり分配金 (税込み)	70円	50円	50円	50円	50円	50円

◆分配金は各決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◆分配金を再投資される方のお手取分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。

◆課税上の取り扱い

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金(特別分配金)」に分かれます。
- ・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金(特別分配金)となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金(特別分配金)が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金(特別分配金)を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・個人受益者が支払いを受ける収益分配金のうち普通分配金については配当所得として課税され、原則として、20.315%(所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%)の税率で源泉徴収(申告不要)されます。確定申告を行い、総合課税・申告分離課税を選択することもできます。

※法人受益者に対する課税は異なります。

※課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※税法が改正された場合等には、上記内容が変更になることがあります。

※NISAおよびジュニアNISAをご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。

*三菱UFJ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ (<https://www.am.mufg.jp/>) をご覧ください。

【お知らせ】

①信託期間を従来の2020年4月10日から2025年4月10日へ延長し、信託約款に所要の変更を行いました。
(2019年1月10日)

②2014年1月1日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315%(所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%(法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。))の税率が適用されます。

<参考>投資する投資信託証券およびその概要

ファンド名	Ｊリート アンド リアルエステート エクイティ ファンド カバード・コール・クラス
運用方針	主として日本の金融商品取引所に上場している不動産株式および不動産投資信託証券に投資することにより、資産の中長期的な成長および配当収益の獲得をめざします。また保有円建て資産について、円売り・米ドル買いの為替取引戦略を活用することにより、追加的なリターンの獲得をめざします。銘柄選定にあたっては、東京圏の経済活性化により恩恵を受けると期待される銘柄に投資を行います。不動産株式および不動産投資信託証券の組入比率は、各々、純資産総額の50%程度とすることを原則とします。円に対する米ドルのコール・オプションおよび日本の不動産業株価指数のコール・オプションを売却する戦略を活用し、オプションのプレミアム収入の獲得をめざします。
主要運用対象	日本の不動産株式および不動産投資信託証券
主な組入制限	・不動産株式および不動産投資信託証券について、同一の発行体が発行する銘柄への投資比率は、純資産総額の35%以内とします。
決算日	毎年9月30日
分配方針	原則として毎月分配を行う方針です。

運用計算書、純資産変動計算書、投資有価証券明細表はAUDITED ANNUAL REPORT SEPTEMBER 30, 2018版から抜粋して作成しています。

なお、開示情報につきましては、クラス分けされていないものは「Ｊリート アンド リアルエステート エクイティ ファンド」で掲載しています。また、「Ｊリート アンド リアルエステート エクイティ ファンド」を「マスターファンド」と表示する場合があります。

(1) 運用計算書

Ｊリート アンド リアルエステート エクイティ ファンド

(2017年10月1日～2018年9月30日)

	Ｊリート アンド リアルエステート エクイティ ファンド 円
投資収入：	
純配当収入	261,016,906
	261,016,906
費用：	
管理費用、保管費用	(14,202,687)
代行費用、マネージャー費用	(20,037,057)
その他費用	(9,769,815)
監査報酬	(2,291,444)
副マネージャー費用	(38,631,309)
副保管費用	(6,808,160)
受託費用	(1,361,229)
	(93,101,701)
投資純収入	167,915,205
実現純利益（損失）：	
投資有価証券	(129,144,945)
為替予約	5,321
オプション	260,339,089
	131,199,465
実現純利益（損失）	131,199,465
未実現評価益（評価損）の純変動：	
投資有価証券	1,209,318,982
オプション	(190,305,228)
	1,019,013,754
運用による純資産の純増（減）額	1,318,128,424

(注) 現時点で入手し得る直近の決算期分を掲載しています。

(2) 純資産変動計算書

Ｊリート アンド リアルエステート エクイティ ファンド
(2017年10月1日～2018年9月30日)

	Ｊリート アンド リアルエステート エクイティ ファンド
	円
期首純資産	14,145,231,773
投資純収入	167,915,205
実現純利益（損失）	
投資有価証券	(129,144,945)
為替予約	5,321
オプション	260,339,089
	131,199,465
未実現評価益（評価損）の純変動	
投資有価証券	1,209,318,982
オプション	(190,305,228)
	1,019,013,754
出資カバードコールクラス	1,825,598,251
出資米ドルクラス	498,066,732
償還カバードコールクラス	(4,767,450,000)
償還米ドルクラス	(1,746,790,000)
分配金額カバードコールクラス	(1,366,598,251)
分配金額米ドルクラス	(207,866,732)
	(5,765,040,000)
期末純資産	9,698,320,197

(注) 現時点で入手し得る直近の決算期分を掲載しています。

(3) 投資有価証券明細表 (the Schedule of Investments)

Ｊリート アンド リアルエステート エクイティ ファンド
(2018年9月30日現在)

銘柄	通貨	数量	取得原価	市場価格	対純資産比率 (%)
SHARES					
<i>JAPAN</i>					
DAIKYO INC	JPY	41,000	93,177,756	94,792,000	0.98%
HEIWA REAL ESTATE CO LTD	JPY	44,900	79,805,783	90,249,000	0.93%
HULIC CO LTD	JPY	169,400	198,601,091	188,881,000	1.95%
IIDA GROUP HOLDINGS CO LTD	JPY	23,200	50,072,074	46,887,200	0.48%
JAPAN AIRPORT TERMINAL CO LTD	JPY	9,100	48,372,927	47,047,000	0.49%
mitsubishi ESTATE CO LTD	JPY	583,700	1,246,971,058	1,127,708,400	11.63%
MITSUI FUDOSAN CO LTD	JPY	394,000	1,095,190,226	1,059,466,000	10.92%
NOMURA REAL ESTATE HOLDINGS INC	JPY	119,400	280,315,555	273,903,600	2.82%
NTT URBAN DEVELOPMENT CORP	JPY	221,800	263,736,780	288,783,600	2.98%
OPEN HOUSE CO LTD	JPY	58,000	282,979,300	324,800,000	3.35%
PARK24 CO LTD	JPY	82,700	237,351,552	284,074,500	2.93%
RAYSUM CO LTD	JPY	59,400	106,920,204	94,921,200	0.98%
STARTS CORP INC	JPY	7,500	19,784,456	18,802,500	0.19%
SUMITOMO REALTY & DEVELOPMENT CO LTD	JPY	122,000	467,290,626	497,760,000	5.13%
TOKYO TATEMONO CO LTD	JPY	34,100	51,460,823	47,262,600	0.49%
TOKYU FUDOSAN HOLDINGS CORP	JPY	234,600	177,641,491	185,803,200	1.92%
			4,699,671,702	4,671,141,800	48.17%
TOTAL SHARES			4,699,671,702	4,671,141,800	48.17%
REAL ESTATE INVESTMENT TRUSTS					
<i>JAPAN</i>					
ACTIVIA PROPERTIES INC	JPY	547	279,011,643	269,124,000	2.77%
ADVANCE RESIDENCE INVESTMENT CORP	JPY	327	92,250,723	94,895,400	0.98%
COMFORIA RESIDENTIAL REIT INC	JPY	567	139,432,269	151,615,800	1.56%
DAIWA HOUSE REIT INVESTMENT CORP	JPY	842	217,371,391	218,835,800	2.26%
DAIWA OFFICE INVESTMENT CORP	JPY	332	212,397,995	227,420,000	2.34%
FRONTIER REAL ESTATE INVESTMENT CORP	JPY	276	125,890,687	122,130,000	1.26%
GLOBAL ONE REAL ESTATE INVESTMENT CORP	JPY	1,441	160,085,919	168,452,900	1.74%
GLP J-REIT	JPY	422	51,004,509	46,631,000	0.48%
HEIWA REAL ESTATE REIT INC	JPY	1,016	111,636,824	116,332,000	1.20%
ICHIGO OFFICE REIT INVESTMENT	JPY	2,026	172,136,712	189,633,600	1.96%
INDUSTRIAL & INFRASTRUCTURE FUND INVESTMENT CORP	JPY	406	51,545,508	46,527,600	0.48%
JAPAN EXCELLENT INC	JPY	641	91,786,006	96,534,600	1.00%
JAPAN PRIME REALTY INVESTMENT CORP	JPY	583	236,763,889	236,115,000	2.43%
JAPAN REAL ESTATE INVESTMENT CORP	JPY	559	321,034,951	333,164,000	3.44%
JAPAN RENTAL HOUSING INVESTMENTS INC	JPY	1,243	103,543,253	111,621,400	1.15%
KENEDIX OFFICE INVESTMENT CORP	JPY	323	211,540,018	234,175,000	2.41%
KENEDIX RESIDENTIAL NEXT INVESTMENT CORP	JPY	837	135,347,417	145,554,300	1.50%
MIRAI CORP	JPY	492	88,767,574	95,251,200	0.98%
MITSUI FUDOSAN LOGISTICS PARK INC	JPY	89	29,519,450	28,391,000	0.29%
MORI TRUST HOTEL REIT INC	JPY	864	128,392,528	121,737,600	1.26%

銘柄	通貨	数量	取得原価	市場価格	対純資産比率 (%)
<i>JAPAN (continued)</i>					
MORI TRUST SOGO REIT INC	JPY	685	127,493,048	110,970,000	1.13%
NIPPON ACCOMMODATIONS FUND INC	JPY	277	136,614,047	140,162,000	1.45%
NIPPON BUILDING FUND INC	JPY	652	389,268,089	428,364,000	4.42%
NIPPON REIT INVESTMENT CORP	JPY	391	144,045,524	143,692,500	1.48%
NOMURA REAL ESTATE MASTER FUND INC	JPY	370	56,955,523	57,424,000	0.59%
ORIX JREIT INC	JPY	1,346	223,938,228	238,780,400	2.46%
SEKISUI HOUSE REIT INC	JPY	2,638	189,998,719	189,672,200	1.96%
TOKYU REIT INC	JPY	912	138,673,800	143,092,800	1.48%
UNITED URBAN INVESTMENT CORP	JPY	1,346	232,390,563	239,991,800	2.47%
			4,598,836,807	4,746,291,900	48.93%
TOTAL REAL ESTATE INVESTMENT TRUSTS			4,598,836,807	4,746,291,900	48.93%
TOTAL INVESTMENTS IN SECURITIES			9,298,508,509	9,417,433,700	97.10%
CASH AT BANKS AND BROKERS				124,079,076	1.28%
INVESTMENTS IN OPTIONS				43,112,666	0.44%
OTHER NET ASSETS				113,694,755	1.18%
TOTAL NET ASSETS				9,698,320,197	100.00%

マネー・マーケット・マザーファンド

《第28期》決算日2018年11月20日

[計算期間：2018年5月22日～2018年11月20日]

「マネー・マーケット・マザーファンド」は、11月20日に第28期の決算を行いました。
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第28期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	わが国の短期公社債等を中心に投資し、利子等収益の確保を図ります。なお、市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。
主要運用対象	わが国の公社債等を主要投資対象とします。
主な組入制限	外貨建資産への投資は行いません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額	騰落率	債組入比率	債券先物比率	純資産額
24期(2016年11月21日)	10,184	0.0	24.4	—	4,420
25期(2017年5月22日)	10,184	0.0	—	—	1,681
26期(2017年11月20日)	10,184	0.0	—	—	1,266
27期(2018年5月21日)	10,184	0.0	—	—	1,269
28期(2018年11月20日)	10,183	△0.0	—	—	1,882

(注) 当ファンドは主として短期債券、コール・ローンなどによる運用を行い、安定的な収益の確保をめざすファンドであり、また、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率	債組入比率	債券先物比率
(期首) 2018年5月21日	10,184	—	—	—
5月末	10,184	0.0	—	—
6月末	10,184	0.0	—	—
7月末	10,184	0.0	—	—
8月末	10,184	0.0	—	—
9月末	10,183	△0.0	—	—
10月末	10,183	△0.0	—	—
(期末) 2018年11月20日	10,183	△0.0	—	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

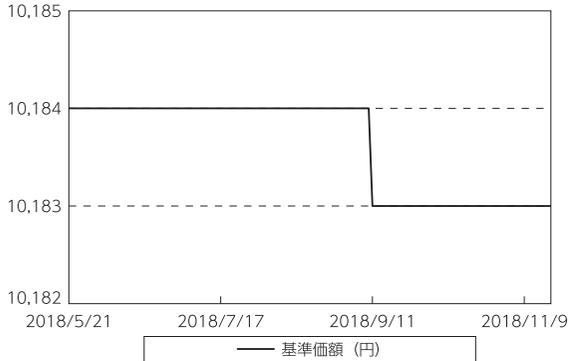
○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ0.01%の下落となりました。

基準価額等の推移



●投資環境について

◎国内短期金融市場

- ・当期の短期金融市場をみると、日銀は長短金利を操作目標として金融市場調整を行いました。コール・レート（無担保・翌日物）はマイナス圏で推移し、2018年11月20日のコール・レートは-0.066%となりました。

●当該投資信託のポートフォリオについて

- ・コール・ローン等短期金融商品を活用し、利子等収益の確保を図りました。その結果、利子等収益は積み上がったものの、運用資金に対するマイナス金利適用などの影響を受けて、基準価額は下落となりました。

○今後の運用方針

◎運用環境の見通し

- ・物価は緩やかに上昇していくと予想していますが、日銀の物価目標である2%には届かないと思われます。したがって、今後も金融緩和政策が継続すると想定されることから、短期金利は低位で推移すると予想しています。

◎今後の運用方針

- ・コール・ローンおよびCP現先取引等への投資を通じて、安定した収益の確保をめざした運用を行う方針です。

○1万口当たりの費用明細

(2018年5月22日～2018年11月20日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用 (そ の 他)	円 0 (0)	% 0.000 (0.000)	(a)その他費用=期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	0	0.000	
期中の平均基準価額は、10,183円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2018年5月22日～2018年11月20日)

その他有価証券

		買 付 額	売 付 額
国 内	コマーシャル・ペーパー	千円 164,899,918	千円 164,299,921

(注) 金額は受渡代金。

○利害関係人との取引状況等

(2018年5月22日～2018年11月20日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2018年11月20日現在)

国内その他有価証券

区 分	当 期 末	
	評 価 額	比 率
コマーシャル・ペーパー	千円 1,799,999	% 95.6

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

○投資信託財産の構成

(2018年11月20日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
その他有価証券	千円 1,799,999	% 95.6
コール・ローン等、その他	82,984	4.4
投資信託財産総額	1,882,983	100.0

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2018年11月20日現在)

項目	当期末
(A) 資産	1,882,983,572
コール・ローン等	82,984,049
其他有価証券(評価額)	1,799,999,523
(B) 負債	140,959
未払解約金	140,557
未払利息	167
其他未払費用	235
(C) 純資産総額(A-B)	1,882,842,613
元本	1,848,959,925
次期繰越損益金	33,882,688
(D) 受益権総口数	1,848,959,925口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,183円

<注記事項>

- ①期首元本額 1,246,790,223円
 期中追加設定元本額 891,597,773円
 期中一部解約元本額 289,428,071円
 また、1口当たり純資産額は、期末1.0183円です。

②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

三菱UFJ DC金利連動アロケーション型バランスファンド	334,544,012円
三菱UFJ 新興国通貨建て債券ファンド(毎月決算型)	2,280,337円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<円コース>(毎月分配型)	5,874,002円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<米ドルコース>(毎月分配型)	1,048,688円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<ユーロコース>(毎月分配型)	111,354円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース>(毎月分配型)	20,147,276円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース>(毎月分配型)	52,804,813円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<南アフリカランドコース>(毎月分配型)	635,856円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<トルコリラコース>(毎月分配型)	3,078,471円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<マネーボールファンド>	149,179,043円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<中国元コース>(毎月分配型)	89,620円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<インドネシアルピアコース>(毎月分配型)	1,033,322円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<資源国バスケット通貨コース>(毎月分配型)	212,322円
PIMCO ニューワールド円インカムファンド(毎月分配型)	16,402,315円
PIMCO ニューワールド米ドルインカムファンド(毎月分配型)	2,272,200円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<豪ドルコース>(毎月分配型)	15,211,722円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<ブラジルリアルコース>(毎月分配型)	270,734円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<円コース>(毎月分配型)	358,088円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<豪ドルコース>(毎月分配型)	667,045円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース>(毎月分配型)	3,836,590円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<資源国バスケット通貨コース>(毎月分配型)	275,663円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<マネーボールファンド>	1,049,877円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<円コース>(毎月分配型)	5,850,843円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<米ドルコース>(毎月分配型)	2,016,707円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース>(毎月分配型)	1,970,066円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース>(毎月分配型)	43,682,881円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<資源国バスケット通貨コース>(毎月分配型)	1,513,806円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<アジアバスケット通貨コース>(毎月分配型)	1,182,898円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<マネーボールファンド>	84,006,970円

○損益の状況 (2018年5月22日~2018年11月20日)

項目	当期
(A) 配当等収益	△ 29,356
受取利息	3,679
支払利息	△ 33,035
(B) 保管費用等	△ 235
(C) 当期損益金(A+B)	△ 29,591
(D) 前期繰越損益金	22,896,956
(E) 追加信託差損益金	16,324,880
(F) 解約差損益金	△ 5,309,557
(G) 計(C+D+E+F)	33,882,688
次期繰越損益金(G)	33,882,688

(注) (E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) (F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<円コース> (毎月分配型)	847, 016円
三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<ユーロコース> (毎月分配型)	600, 566円
三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース> (毎月分配型)	992, 946円
三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース> (毎月分配型)	1, 979, 971円
三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<資源国バスケット通貨コース> (毎月分配型)	140, 355円
三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<マネープールファンド>	990, 683円
三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド ユーロ円プレミアム (毎月分配型)	19, 635, 282円
欧州ハイイールド債券ファンド (為替ヘッジあり)	6, 336, 371円
欧州ハイイールド債券ファンド (為替ヘッジなし)	11, 400, 264円
三菱UFJ 米国リートファンドA<為替ヘッジあり> (毎月決算型)	491, 836円
三菱UFJ 米国リートファンドB<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	98, 368円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<メキシコペソコース> (毎月分配型)	12, 561, 714円
PIMCO ニューワールド円インカムファンド (年2回分配型)	50, 290円
PIMCO ニューワールド米ドルインカムファンド (年2回分配型)	99, 465円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<豪ドルコース> (年2回分配型)	69, 757円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<ブラジルリアルコース> (年2回分配型)	30, 457円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<メキシコペソコース> (年2回分配型)	641, 668円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<メキシコペソコース> (毎月分配型)	1, 559, 264円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<トルコリラコース> (毎月分配型)	4, 881, 309円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<米ドルコース> (毎月分配型)	19, 658円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<メキシコペソコース> (毎月分配型)	19, 658円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<トルコリラコース> (毎月分配型)	19, 658円
三菱UFJ 米国高配当株式プラス<為替ヘッジあり> (毎月決算型)	491, 449円
三菱UFJ 米国高配当株式プラス<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	9, 828, 976円
PIMCO ニューワールドインカム分散コース<世界通貨分散コース> (毎月分配型)	7, 717, 476円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<世界通貨分散コース> (年2回分配型)	348, 598円
バリュー・ボンド・ファンド<為替リスク軽減型> (毎月決算型)	1, 936, 118円
バリュー・ボンド・ファンド<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	9, 829円
バリュー・ボンド・ファンド<為替リスク軽減型> (年1回決算型)	9, 829円
バリュー・ボンド・ファンド<為替ヘッジなし> (年1回決算型)	9, 829円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<円コース> (毎月分配型)	5, 504, 257円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<米ドルコース> (毎月分配型)	13, 128, 307円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース> (毎月分配型)	2, 424, 660円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース> (毎月分配型)	9, 340, 694円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<メキシコペソコース> (毎月分配型)	3, 123, 514円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<トルコリラコース> (毎月分配型)	6, 722, 976円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<ロシアルールコース> (毎月分配型)	13, 206, 980円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<円コース> (年2回分配型)	2, 304, 081円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<米ドルコース> (年2回分配型)	4, 117, 720円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース> (年2回分配型)	421, 681円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース> (年2回分配型)	961, 645円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<メキシコペソコース> (年2回分配型)	608, 110円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<トルコリラコース> (年2回分配型)	734, 038円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<ロシアルールコース> (年2回分配型)	1, 043, 194円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<マネープールファンドA>	37, 783, 200円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<マネープールファンドB>	979, 528円
三菱UFJ /ビムコ トータル・リターン・ファンド<米ドルヘッジ型> (毎月決算型)	5, 144, 832円
三菱UFJ /ビムコ トータル・リターン・ファンド<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	8, 859, 081円
三菱UFJ /ビムコ トータル・リターン・ファンド<米ドルヘッジ型> (年1回決算型)	1, 609, 969円
三菱UFJ /ビムコ トータル・リターン・ファンド<為替ヘッジなし> (年1回決算型)	2, 065, 331円
ビムコ・エマージング・ボンド・オープン Cコース (為替ヘッジなし) (年1回決算型)	40, 261円
ビムコ・エマージング・ボンド・オープン Dコース (為替ヘッジあり) (年1回決算型)	50, 083円
米国バンクローンファンド<為替ヘッジあり> (毎月分配型)	3, 828, 727円
米国バンクローンファンド<為替ヘッジなし> (毎月分配型)	9, 387, 547円

三菱UFJ/ビムコ トータル・リターン・ファンド2014	109,051円
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジあり> (毎月決算型)	3,545,187円
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	8,124,755円
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジあり> (年1回決算型)	2,990,177円
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジなし> (年1回決算型)	3,377,211円
PIMCO インカム戦略ファンド<円インカム> (毎月分配型)	8,478,079円
PIMCO インカム戦略ファンド<円インカム> (年2回分配型)	4,145,749円
PIMCO インカム戦略ファンド<米ドルインカム> (毎月分配型)	8,067,104円
PIMCO インカム戦略ファンド<米ドルインカム> (年2回分配型)	3,319,056円
PIMCO インカム戦略ファンド<世界通貨分散コース> (毎月分配型)	20,075,917円
PIMCO インカム戦略ファンド<世界通貨分散コース> (年2回分配型)	1,616,484円
三菱UFJ/AMP オーストラリア・ハイインカム債券ファンド 豪ドル円プレミアム (毎月決算型)	5,899,118円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 米ドル円プレミアム (毎月分配型)	10,826,836円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 米ドル円プレミアム (年2回分配型)	2,026,238円
PIMCO 米国バンクローンファンド<円インカム> (毎月分配型)	128,636円
PIMCO 米国バンクローンファンド<円インカム> (年2回分配型)	79,540円
PIMCO 米国バンクローンファンド<米ドルインカム> (毎月分配型)	1,375,824円
PIMCO 米国バンクローンファンド<米ドルインカム> (年2回分配型)	698,261円
マルチストラテジー・ファンド (ラップ向け)	491,015円
PIMCO 米国バンクローンファンド<世界通貨分散コース> (毎月分配型)	564,702円
PIMCO 米国バンクローンファンド<世界通貨分散コース> (年2回分配型)	89,371円
三菱UFJ 債券バランスファンド<為替リスク軽減型> (毎月決算型)	983円
三菱UFJ 債券バランスファンド<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	983円
三菱UFJ 債券バランスファンド<為替リスク軽減型> (年1回決算型)	983円
三菱UFJ 債券バランスファンド<為替ヘッジなし> (年1回決算型)	983円
三菱UFJ Jリート不動産株ファンド<米ドル投資型> (3ヵ月決算型)	3,063,931円
三菱UFJ Jリート不動産株ファンド<Wプレミアム> (毎月決算型)	6,324,266円
三菱UFJ ターゲット・イヤール・ファンド2030 (確定拠出年金)	2,399,448円
マクロ・トータル・リターン・ファンド	9,820円
スマート・プロテクター90 (限定追加型) 2016-12	6,313,826円
米国政策テーマ株式オープン (為替ヘッジあり)	412,412円
米国政策テーマ株式オープン (為替ヘッジなし)	1,188,139円
スマート・プロテクター90オープン	981,933円
米国バンクローンファンド<為替ヘッジあり> (資産成長型)	609,781円
米国バンクローンファンド<為替ヘッジなし> (資産成長型)	305,382円
テンブルトン新興国小型株ファンド	49,097円
ビムコ・インカム・ストラテジー・ファンド<限定為替ヘッジあり> (毎月決算型)	3,683,229円
ビムコ・インカム・ストラテジー・ファンド<限定為替ヘッジあり> (年2回決算型)	17,656,128円
ビムコ・インカム・ストラテジー・ファンド<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	5,843,481円
ビムコ・インカム・ストラテジー・ファンド<為替ヘッジなし> (年2回決算型)	25,393,755円
欧州ハイイールド債券ファンド (為替ヘッジあり) (年1回決算型)	36,457円
欧州ハイイールド債券ファンド (為替ヘッジなし) (年1回決算型)	87,384円
わたしの未来設計<安定重視型> (分配コース)	9,820円
わたしの未来設計<安定重視型> (分配抑制コース)	9,820円
わたしの未来設計<成長重視型> (分配コース)	9,820円
わたしの未来設計<成長重視型> (分配抑制コース)	9,820円
北欧小型株ファンド (為替ヘッジあり)	9,821円
北欧小型株ファンド (為替ヘッジなし)	9,821円
N a v i o インド債券ファンド	296,406円
N a v i o マネーボールファンド	5,223,339円
三菱UFJ インド債券オープン (毎月決算型)	39,351円
三菱UFJ/AMP オーストラリアREITファンド<Wプレミアム> (毎月決算型)	11,293,333円
マネーボールファンド (FOFs用) (適格機関投資家限定)	9,988,373円
MUAMトピックスリスクコントロール (5%) インデックスファンド (FOFs用) (適格機関投資家限定)	6,042,045円

ビムコ・グローバル・ハイイールド・ファンド（毎月分配型）	11,784,347円
ビムコ・エマージング・ボンド・オープン Aコース（為替ヘッジなし）	10,766,608円
ビムコ・エマージング・ボンド・オープン Bコース（為替ヘッジあり）	21,620,196円
三菱UFJ ターゲット・イヤーファンド 2020	417,607,779円
三菱UFJ <DC>ターゲット・イヤー ファンド 2020	225,031,917円
合計	1,848,959,925円